

Automated Manifest System (AMS)



BALDOC Interface – 導入手順 (EDI - Implementation)



EDIの導入手順について

- 下記事項を完了していることが前提となります。
 - International Type 3 Carriers Bondの取得
 - 米国税関宛 Letter of Intent提出
 - SCACコードの取得

Step 1 – 導入の検討開始

- Import2000のEDI処理に関する概要を説明いたします
- ご契約 - データ形式を含む詳細説明は弊社とのご契約が前提となります
- 本契約とは別に「EDI技術支援」のご契約が必要です。なお、Step-2の支援する業務内容により料金が異なりますのでまずはご相談ください

•Step 2 – 業務システムの確認、Flat File作成及び必要な技術支援

- ご契約の際、Flat File作成についての必要な弊社支援をご確認頂きます
- FCS社のファイル形式や詳しい処理に関わる内容をご説明します
- お客様のシステム環境に応じた必要な確認をFCS社と行います
- 米国税関宛に「NVOCC AMS Set-up」を通告
- FCS社とStep-3以降のテスト及び本番時の手順を確認します

Step 3 – EDI開通テスト(テストデータ伝送、返信データ受信ほか)

- Import2000 - EDIテスト及び本番アカウントの設定、確認
- Import2000 - テストデータ送信、返信データ確認、と必要な検証
- オンライン画面からのシステム機能の検証ほか、処理の最終確認

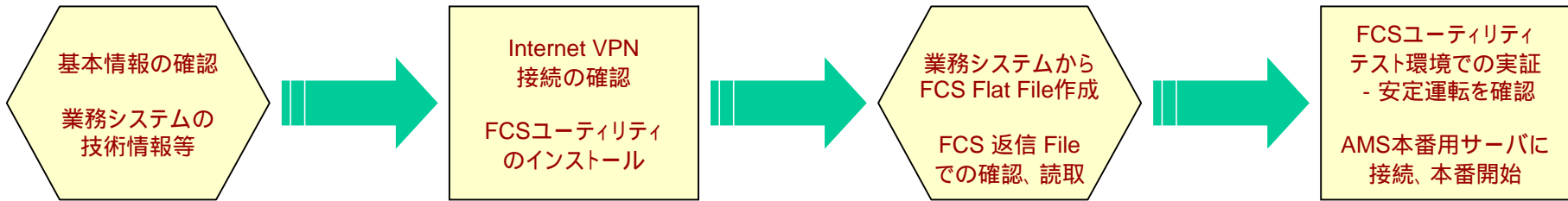
•Step 4 – 本番稼動

- 本番用ユーザー登録番号によるデータ伝送開始
- Import2000本番以降に必要なカスタマーサポート

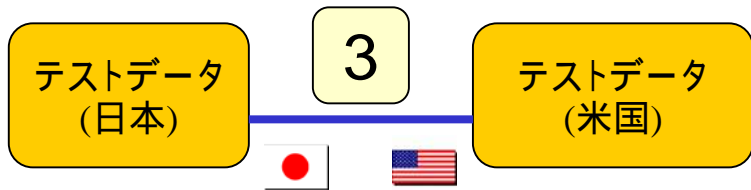
EDIの導入手順について

本番に向けた日米間システム導入テスト手順

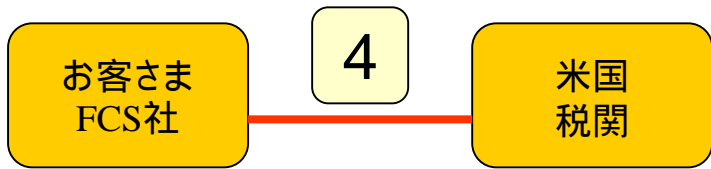
弊社では、お客様と事前に入念な打ち合わせを行い、日米間のシステム連携の下、本番でのスムーズな稼動開始を実現できるよう各ステップには万全を期します



EDIの導入手順について

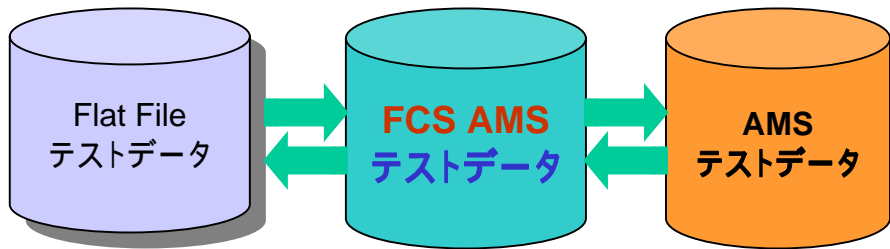


- ・Import2000 - EDIテスト及び本番アカウントの設定、確認
- ・Import2000 - テストデータ送信、返信データ確認,と必要な検証
- ・オンライン画面からのシステム機能の検証ほか、処理の最終確認



- ・本番用ユーザー登録番号によるデータ伝送開始
- ・Import2000本番以降の必要なカスタマーサポート

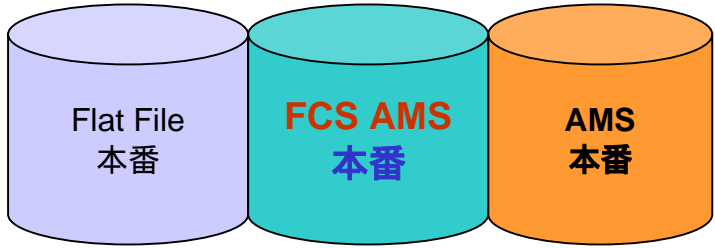
開通テスト(テストデータ伝送、返信データ受信ほか)



お客さま



テスト検証での最終確認後 - 本番稼働



上記のEDI導入テストから本番稼働迄、日米連携の下で実現します

The End